

# IT応用水環境システムの展望



吉積敏昭\*



畑辺 健\*\*



廣辻淳二\*\*\*

## 要 旨

水環境事業の中で中心的な役割を果たす上下水道は国・自治体の施策によって整備が進み、2001年度には水道96%、下水道62%の普及率に達している。しかし21世紀を迎え、上下水道には、単なる水の安定供給・汚水/雨水対策の範疇(はんちゅう)を越えて、安全な都市生活の確保、地球環境に配慮した循環型社会の形成といった新たな役割が期待されている。また、上下水道事業の経営効率化及び経営基盤強化も重要な課題であり、水道法改正・市町村合併などの動きとともに、上下水道事業は今大きな変革期に差し掛かっている。

このような時代の変化の中で、三菱電機は、“安定運用と水環境保全”“経営効率化”“災害対策の充実と市民サービス”という上下水道事業における継続的な重要課題に対し、

IT(Information Technology)システムを中心とした最新技術を活用してお客様の抱える様々な課題の解決を図っている。具体的には、より高レベルの安定運用を可能とする流入量予測ポンプ自動運転システム、閉鎖性水域の水環境保全に寄与する硝化制御システム、少人数での運転管理に効果が期待できる広域統合監視制御システム、災害対策の質的向上が期待できる災害被害判読システムなど幅広い“上下水道IT応用水環境システム”の開発により、お客様の考える21世紀の水環境事業創造に貢献していくことを目指している。

この特集では、当社の“上下水道IT応用水環境システム”とそれを支える最新技術について紹介する。



## 上下水道IT応用水環境システムの概要

三菱電機では、高度化・多様化・複雑化している上下水道事業の課題解決に向けて、“IT系”及び“プロセス系”のIT応用水環境システムを開発し製品化している。